

第33回富山県入札監視委員会の審議の概要

開催日及び場所	令和2年2月4日（火） 県庁4階大会議室		
委員 (委員数：5) (出席数：5)	委員 長	中 出 孝 典	(富山大学経済学部教授)
	委員	伊 藤 始	(富山県立大学工学部教授)
	委員	大 石 貴 之	(弁護士)
	委員	彼 谷 環	(富山国際大学子ども育成学部教授)
	委員	前 田 陽 子	(税理士)
次 第	1 開会 2 入札・契約手続の運用状況の報告 ① 富山県の入札・契約制度について ② 令和元年度上半期の入札・契約方式別発注工事の状況について ③ 令和元年度上半期の一位不動入札及び落札率100%入札について 令和元年度上半期の一者入札、入札方式別落札率及び総合評価方式の試行結果について ④ 令和元年度上半期の低入札価格調査制度対象工事の状況、最低制限価格制度対象工事の状況及び指名停止の運用状況等について 3 審議工事の抽出結果の報告 4 抽出事案の審議 5 審議結果の報告 6 閉会		
審議対象期間	令和元年度上半期（同時期に請負契約を締結した工事）		
抽出事案	10件（審議対象工事総件数：965件）		
一般競争入札	3億円以上	1件	(事案1) 富山県立中央農業高等学校寄宿舎改築
	1億円以上	1件	(事案2) 一般県道安居福野線道路総合交付金（防災・架替）川崎橋下部工（P2橋脚）
	2千万円以上	3件	(事案3) 早月川水系早月川砂防災害復旧護岸工 (事案4) 主要地方道利賀河合線道路総合交付金（防災・災防・修繕）落石対策工その1 (事案5) 地すべり防止 小来栖地区 集水井
指名競争入札	4件	(事案6) 主要地方道富山港線道路総合交付金（防災・防雪）消雪工（配管） (事案7) 小矢部川流域下水道県単独二上浄化センター電気設備修繕 (事案8) 一般県道魚津入善線道路総合交付金（防災・災防・修繕）舗装補修 (事案9) ため池整備 加納新池地区 加納新池取水施設製作据付	
随意契約	1件	(事案10) 西部工業用水道事業BCD地区幹線配水管漏水補修	
委員からの意見及び質問並びに当該質問に対する回答	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会としての意見	令和元年度上半期における建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われている。		

別 紙

意見・質問	回 答
<p>○事案1の工事について、工事費内訳書の不備により1共同企業体の入札が無効となったのは何故か。</p>	<p>工事費内訳書に記載すべき入札参加者名が共同企業体名になっていなかったものであり、公告の際に提示している「工事費内訳書の提出義務化について」に例示する不備にあたるため、無効としたもの。</p>
<p>○事案2の工事について、入札参加業者が2者と少ないのは何故か。</p>	<p>企業の手持ち工事の状況や地理的条件、技術者等の供給の見通しなど総合的に判断して決定されたものと考えている。</p>
<p>○事案5の工事について、5か月工期が延長されているのは何故か。</p>	<p>山間部の工事現場条件が厳しいという状況やスキー場の冬季営業に伴う市道の通行止めにより、結果として工期延長を行うこととなったもの。</p>
<p>○事案6の工事について、指名業者10者のうち、7者辞退、1者棄権となっているが、業者の選定に問題はなかったか。</p>	<p>管工事については、今年度県内での発注が非常に多く、発注の仕方等について工夫をしているが、今回は結果としてこのようになった。</p>
<p>○事案7の工事について、各業者の入札額の差が少ないが、要因は何か。</p>	<p>県の積算歩掛等が公表されており、確実な工事価格の積算が可能であることから、各業者の入札価格が近い金額になったのではないかと推測される。</p>
<p>○事案9の工事について、1回目の入札で落札されなかったのは何故か。</p>	<p>県の積算基準に基づき積算していると思われるが、業者側で取得した資材の見積や工場の稼働状況等も踏まえ、全者予定価格を上回る金額での入札になったと考えられる。</p>